



平成30年4月5日

各 位

会 社 名 株式会社ワンダーコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長兼CEO 高 田 修
 (JASDAQ・コード番号: 3344)
 問合せ先 経営戦略本部長兼CSO 宮 谷 穰 士
 (TEL: 029-853-1313)

特別損失の発生、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、特別損失が発生したこと、並びに平成29年4月6日に公表した業績予想と配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性の低下による減損の兆候が認められたことなどから、将来の投資回収可能性を再検討した結果、第4四半期会計期間においてWonderG00店舗他29店舗の減損処理を行ったことにより、連結決算において減損損失614百万円（個別決算では570百万円）を計上することといたしました。

2. 連結業績予想の修正について

(1) 平成30年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 72,500	百万円 300	百万円 380	百万円 0	円 銭 0.00
今回修正 (B)	73,150	300	480	△390	△70.52
増減額 (B-A)	650	0	100	△390	—
増 減 率 (%)	0.8	0.0	26.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年2月期)	74,196	△478	△278	△1,124	△201.65

(2) 修正の理由

平成30年2月期の連結業績予想につきましては、利益面において、主力事業であるWonderG00事業のゲームソフトや化粧品、携帯電話販売が好調に推移し、WonderREX事業においても移転増床1店舗、新規出店1店舗が計画を上回る結果となったことや、当社の本部経費を中心とした販管費を前年対比で約15億円削減し、借入金やリース債務の返済に伴う支払利息の削減により、前回予想を上回る経常利益の見通しとなりました。しかしながら、上記理由における減損損失の発生により、親会社株主に帰属する当期純利益において予想を下回る見通しとなりましたので、平成30年2月期の連結業績予想を修正するものであります。

3. 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
前回予想(平成29年4月7日)	0円	10円	10円
今回修正予想	—	0円	0円
当期実績(平成30年2月期)	0円	—	—
前期実績(平成29年2月期)	0円	10円	10円

修正の理由

当社は、安定した配当を継続的に実施することを剰余金処分に当たっての基本方針としておりますが、平成30年2月期の期末配当予想につきましては、上記業績予想を踏まえ、平成30年2月期の期末配当予想を修正し、期末配当を行わないことに修正させていただきます。

株主の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしますが、更なる経営改革並びに業務改革を行い、安定配当を実施できるように努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

(注)本業績予想及び配当予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

以上